

全教

豊中教職員組合

とよなか

2024 年 3/19

〒561-0885
8 豊中市岡町9-6-202
No. 6 4 Tel 06 7161-4161
Fax 06-7161-2511
Web ページ 検索【全教豊中】

奈良教育大学附属小

問題はどこにあるのか

「不適切な指導」があつたとして「健全化」の取組みを公表して注目されている奈良教育大学附属小学校。

この動きに対し附属小の創造的な実践をつぶすものとして批判の声が起きている。教育研究者が緊急の声明を発表、また、教員を外向させる方針の撤回を求める署名も始まっています。全日本教職員組合（全教）も書記長が談話を発表しました。（3/4）

「みんなのねがいでつくる学校」 奈良教育大学附属小学校

「みんなのねがいでつくる学校」2021年に出版された奈良教育大学附属小学校の本です。

2200円

クリエイツかもがわ

奈良教育大学付属小学校編

解説 川地亜弥子

（神戸大准教授）

附属小はこれまでも全国の教育研究者から注目されてきた学校です。

今回の附属小の事態を受けて、「みんなのねがいでつくる学校」という応援サイトができています。



「奈良教育大学附属小は、子どもたち一人ひとりの成長・発達へのねがい・要求に耳をすませ、その実現のために必要な自

主教材や授業、行事を創造する教育課程の自主編成に学校あげて挑戦してきた学校です。その教育実践や学校づくりは、全国の関係者から注目され、高く評価されてきました。」（みんなのねがいでつくる学校応援団HPサイトより）

「みんなのねがいでつくる学校 応援団」



「法令違反」?

学習指導要領は「大綱的基準」

教育研究者有志が今回の附属小の事態を受けて緊急声明を出し、教育研究者の間で賛同が広がっています。

教育課程の編成を行う主体は学校です。学習指導要領は、細部にわたって教育課程や教育実践を規定するものではなく大綱的基準です。

「不適切・法令違反」という報道が一人歩きしていますが、研究者の緊急声明には、「不適切・法令違反とまでいえるかどうかについて、教育法等の観点も含めた学問的な検討は必要」と書いています。

また昨年度の教育のつどい・大阪の記念講演をお願いした鈴木大裕さん（教育研究者）は奈良教育大附属小学校「不適切指導」事件と呼び、

「今回の事件は突き詰めれば、教育現場への介入でマニュアル的な教育を押し付けようとする行政と、子どもにとってのベクトルを考え上からの圧力に抗う教育現場との対立」と指摘しています。

「ゆたかな教育の実現をめざして」



《出版情報》

「ほめ言葉のシャワー」の菊池省三さんによる近刊 3月

『ネットニュースだけではわからない 子どもを主人公にした奈良教育大学附属小学校の豊かな教育』著者 菊池 省三
原田 善造

喜楽研

990円

奈良教育大学附属小学校の教育課程への乱暴な介入について

全日本教職員組合（全教）

壇原 毅也書記長

奈良教育大学は「奈良教育大学附属小学校における教育課程の実施等の事案にかかわる報告書」を文部科学大臣に提出しました。「報告書」は「附属小学校において、教育課程の実施等に関し法令違反を含む不適切な事案がある旨、奈良県教育委員会から本学学長に連絡があった」と述べ、①学習指導要領に示されている内容の実施不足、②教科書の未使用、③職員会議において校長の権限が制約されていたことなどの管理運営、3点の不適切な事項が明らかになったとするとともに、時数不足等についての回復措置の考え方などを示しています。

盛山文科大臣は記者会見で「学内調査の確実な実施、適切な学習指導を受けていない児童への回復



措置等の実施を指示しております」と述べています。文科省が全国の国立大学法人に大学や附属学校に確認や点検を求める「通知」を发出したことが報じられています。

附属小学校の教育実践は「みんなの願いでつくる学校」として知られています。教職員の民主的な議論をふまえ、創意工夫された自主的な教育課程づくりと民主的な学校運営は高く評価され、その実践の確かさは、小谷隆男校長の「お詫び」のなかの「本校の教員は子どもに対して実に丁寧にきめ細かく指導してきたことは間違いなく、驚くほど前向きに自分の言葉で話せる児童が多いことも事実です」という言葉にも現れています。

ところが「報告書」は、その教育実践を学習指導要領通りでないというだけで「不適切」と決めつけ、盛山大臣も同調しています。しかし、そもそも学校の教育課程は、子どもや地域の実態をふまえ、各学校で自主的に編成するものです。学習指導要領の前文も、学習指導要領は「教育課程の基準を大綱的に定めるものである」として、「各

学校がその特色を生かして創意工夫を重ね、長年にわたり積み重ねられてきた教育実践や学術研究の蓄積を生かしながら、児童や地域の現状や課題を捉え、家庭や地域と協力」することが重要である、としています。

また、国立大学附属学校は教育学研究の役割とともに教員養成でも重要な役割を担っており、教育課程編成の創意工夫がいつそう奨励されるべき存在でもあります。各学校の自主的な教育活動を保障してこそ、子どもたちの自主性を育むことができます。

今回の問題の発端となった奈良県教育委員会から大学への「連絡」、奈良教育大学の「報告書」、そして文科省の「通知」は、学習指導要領の位置づけの一面のみを重視して、現場の創意あるとりくみを否定し、豊かな教育をやせ細らせることにほかならず、教育課程への不当な介入というべきものです。附属小学校の在校生や回復措置の対象となる卒業生、そして保護者、教職員の当惑と混乱は想像するに余りあります。また、文科省による「通知」は、全国のすべての学校の教育課程編成に一種の「委縮」効果を及ぼすおそれがあります。全教は、文科省に「通知」を撤回することとともに、改めて現場の教職員の自主性・

自律性を保障し、創意ある教育課程編成を認めることを求めるものです。

また、学校の民主的な運営を保障し、創造的な教育実践を推進するため校内体制の確立は重要です。その点から、奈良教育大学が実施しようとしている附属小学校の教員の同意のない強引な「出向人事」は、これまでの豊かな教育実践を踏みにじる不当なものといわざるを得ません。

今回の問題の背景として、国立大学の独立行政法人化により、各大学の運営費交付金が削減されるところに、先の国会で成立した国立大学法人法の改定により、一段と政府が大学の自治への介入を強める動きとの関連も指摘されています。子どもと教育を守る立場にたち、教員や保護者の十分な議論を保障することが求められます。全教は、現地組織とともに、今後の推移を注視するとともに、人格の完成をめざすゆきとどいた教育を実現するために、学校現場の教育課程編成権への不当な攻撃を許さないとりくみをすすめます



持ち方伝道師 まえちゃんねる

鉛筆の持ち方・使い方は学力の基礎

そして学習の構えをつくる③

前田 昌彦（庄内西小）

文字の書き場所と鉛筆の持ち方、動かし方

前回は姿勢のことだけで結構書きましたが、それだけ大切な要素です。鉛筆の持ち方だけ直してもあまり意味がないからです。

＊文字の書き場所はどう？

子どもたちも大人の方もどこで書いても変わりがないように思われていますが、ちゃんとふさわしい場所があるのです。

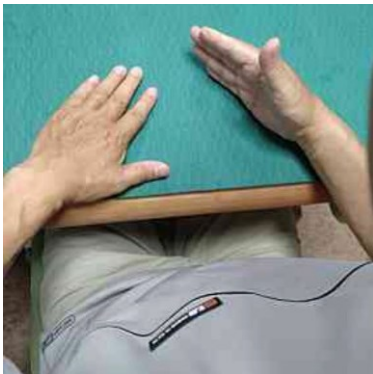
これも両手の親指同士と人指し指同士をくっつけて小さな三角形を作り、脇を締めたまま、両手を机の上に置きます。そして利き手の手を90度立てると

【写真1】、そこに鉛筆を持っていけば最も書きやすい場所、つまり胸の前になります。自分の身体を使って常に覚えると忘れません。

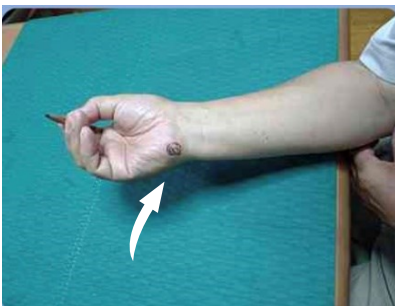
＊持ち手を支える方法

そしてそのまま、少し手首を立てると、小指の付け根にある丸っこい骨（豆状骨）がわかりますでしょうか。その骨で持ち手を支えるのです。

【写真2】若干小指の先の側面もつけるとより文字が安定して書けます。これを小指主導と昔の方は仰っています。



【写真1】



【写真2】



【写真3】

＊鉛筆の合理的機能的な持ち方

ここまで来るとあとは鉛筆の合理的機能的な持ち方です

まず、鉛筆二本（親指、人差し指、中指）を使って軽く握ります。まず、中指の爪の根本に鉛筆を乗つけます。【写真3】

そして親指の腹と人差し指の腹でつまみます。その時人差し指が一番前に出ます。

てこの原理で説明すると鉛筆の先の芯が作用点、3本で持っているところが力点です。それでは支点はどこでしょうか。支点とは動かない所です。鉛筆は人差し指の第二関節まで沿わせて持ちます。従ってその第2関

節の内側のところにある骨を支点にすると鉛筆がズレません。そこを支点にして五本の指全てを動かすことができます。

また、小指の側面が真っ黒になることもなくなります。

つづく

「持ち方伝道師まえちゃんねる」YouTubeから発信しています。

